

分野名：ボランティア活動

# 前原南校区の子どもは、わたしたちの手で ～安全を見守る・学びを見守る・成長を見守る～

糸島市前原南コミュニティセンター【コミュニティセンター】  
センター員 堀 久子

## 1 校区の概要

前原南校区は昭和 58 年 4 月（1983 年 4 月）福岡都市圏に位置する前原校区の人口増に伴い、前原校区及び雷山校区の一部を分離し、新しくできた校区です。

平成 31 年 3 月校区内に新しい JR の駅が誕生し、糸島市 15 校区の中で 3 番目の人口を擁する大きな校区となりました。

## 2 事業名

地域住民参加型のボランティア活動事業

## 3 事業目的

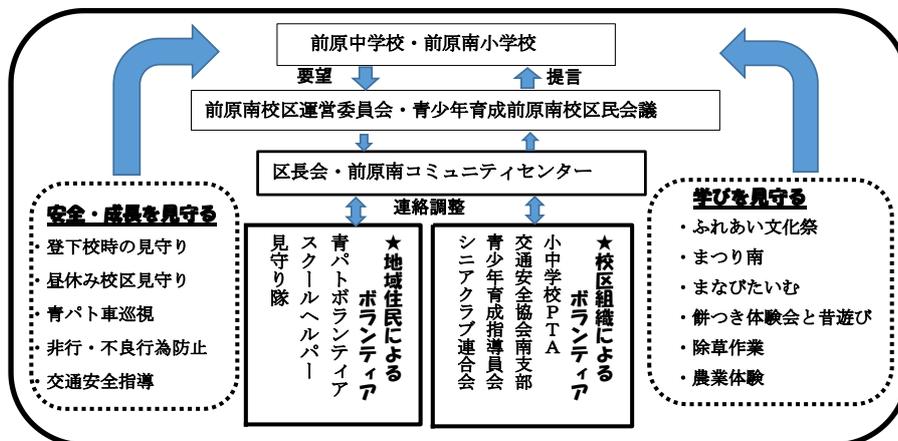
子どもたちの安全を継続的に見守ることのできるコミュニティの構築を目指し、地域ぐるみで登下校時の交通安全指導と生活環境全体を見守る活動を中心に、様々な「学びを通じた成長の場」を提供していくことが目的です。



糸島高校前駅 新駅開業

## 4 事業の実施主体（連携・協力機関・団体等）

前原南校区運営委員会、青少年育成前原南校区民会議



## 5 事業予算

1,000,000 円

## 6 実施に至る経緯

2001年大阪府池田市で、不審者が小学校に侵入し、児童や教師が無差別に殺傷される痛ましい事件が起きました。学校の安全神話が崩れ、その後もネットなどによるいじめや親からの虐待など、子どもの安全・生活が脅かされる社会環境の変化が次々と起こっています。

これらに対応するため、前原南校区の子どもたちを「安全安心な街で育てる」という校区民総意に基づいた前原南校区運営委員会の方針が決まりました。

## 7 事業内容

### (1) みなみっ子の見守り活動

#### ① 朝登校時の見守り活動

ア P T Aの交代制による通学路、主要交差点での立哨活動を通し、子どもの安全な交差点横断の指導や朝の声かけ運動を展開



イ 交通安全協会員による、交通量が多い交差点での安全な横断歩道の渡り方などの指導

#### ② スクールヘルパーによる見守り活動

昼休みの校内における警戒巡視や夏祭り、文化祭、遠足などの校外の学習の補助（月2回程度、11名）



#### ③ 行政区（自治会）の見守り隊による活動

前原南校区には8行政区（自治会）で組織された見守り活動があります。自治会によっては数班に分け、曜日を決めて踏切付近、前原南小学校及び前原中学校正門付近、通用門付近、並びに交差点等で見守り活動を実施しています。

ほぼ毎日、朝の登校時や下校時の交差点や歩道に立ち、子どもたちを見守っています。（昨年度は8行政区合わせて、200日延べ5,575人）

### (2) 前原南校区内の巡視活動

青少年育成指導員や青パトボランティアの会員が交代で青色回転灯装備の青パト「みなみちゃん」に乗車し、機動力を活かした見守りが行われています。他にも校区内で危ない箇所（池、踏切、信号のない交差点、暗い夜道など）を定期的にチェックし、報告しています。

#### 《具体的な巡視活動内容》

- ・原則、毎月第2、第4金曜日の早朝に青パトによる見守り活動の実施。
- ・平日午後3時頃下校時と合わせ、週3回の青パトによる見守り活動の実施。
- ・毎週金曜日は、少年法に基づく非行、不良行為を未然に防ぐため警察活動の補助的活動としての青パト運行。（昨年度180日、延べ386人、青パト運行距離2,474km。現在約60名で運営。）

また適切な自主防犯パトロールの持続性を確保するため、毎年パトロール実施者証所持者及び新規加入者に対して講習を実施しています。



(3) 地域と学校を繋ぐパイプ役としてのコミュニティセンターの取り組み (昨年度)

ボランティアによる子どもたちの物づくりや昔遊び、科学実験等、様々な体験を通じて見聞を広め、好奇心を高めつつ、校区の方々との交流を図る目的として実施しています。

実施日	学 習 内 容
6月 8日(土)	科学実験 九大 F.E.E.L「切り絵を作ろう」
7月 26日(金)	まなびたいむ (学習とそうめん流し)
8月 1日(木)	まなびたいむ (学習と茶道体験)
8月 8日(木)	まなびたいむ (学習と折り紙工作)
8月 24日(土)	まなびたいむ (学習とカルタ取りリレー)
11月 9日(土)	リアルはんごう炊飯 (薪を使った火起こし体験)
12月 22日(日)	餅つき体験会と昔あそび (双六づくり)



## 8 事業の成果

タイトルにもある「前原南校区の子どもは、わたしたちの手で」という言葉どおり、前原南校区運営委員会や青少年育成前原南校区民会議の運営指針に基づいた組織的な見守り活動のおかげで、子どもが危険なことに遭遇せず、不審者の減少といった犯罪防止につながる成果が見えています。また、学びの講座や校区事業を行うことにより、子どもたちと校区住民とのふれあいも多く見られるようになりました。

## 9 今後の課題

未来を担う子どもたちの安全安心な地域づくり、環境づくりを継続的に行うためには活動の中心となるボランティア団体の重要性がますます大きくなります。その中でこのボランティア団体の維持、発展には活動をしていただける構成員の確保、あるいは後継者の育成が重要な課題です。

- ・ 青少年育成指導員会による実際の青パト乗車体験を行うことで参加者を募集
- ・ コミュニティセンターがパイプ役となり、地域の人材の発掘を促進
- ・ 魅力ある校区行事の企画を通して、若い世代の参加を促進
- ・ 個人ができる範囲でもっと気軽に (買い物の途中や犬の散歩など) 地域ぐるみで見守り活動に取り組むスタイルの構築

などの取り組みにより、解決を図っていきます。

## 10 問合せ先

〒819-1139 福岡県糸島市前原南一丁目 11 番 23 号  
 前原南コミュニティセンター センター長 吉村 博海  
 TEL : 092-324-1763 FAX : 092-324-1763